

新型コロナウイルス感染症について

外出自粛で愛する人を守りましょう

相手は理性も交渉も全く通用しないウイルスです。よくできたSF映画もパニック小説も吹き飛ばしてしまう現実があります。

人と人との接触を最低7割、極力8割削減するとの目標の実現に向けて、外出自粛の要請に応えてくださっている皆様、在宅勤務を原則とする事業者の皆様、改めて感謝申し上げます。

まずこの場を借りて、全ての医師、看護師、看護助手、そして病院スタッフの皆さん、臨床検査技師の皆さん、さらには保健所の皆さんにお礼を申し上げます。院内でのクラスター発生、院内感染が相次いで報告され、事態を大変憂慮しております。こうした皆さんこそが、今、最前線にあって、感染リスクと背中合わせの苛酷な環境でウイルスとの戦いに臨んでくださっています。この感染の深刻な経過を最初に見て、毎日、新しい感染者に奉仕し、人々のためにそこにいてくれるのです。あなた方の仕事は尊いことであり、心から感謝します。

私たちの生活を守るために事業を、営業を継続して下さってる高齢者の介護施設や、保育所などでは、多くの職員の皆さんが感染予防に細心の注意を払いながら、必要とする方々のため、事業を続けてくださっています。

電力やガス、水道の供給、ごみの収集・焼却、鉄道の運行、こうした社会インフラがしっかりと維持されなければ、私たちの生活は成り立ちません。そのために日夜、頑張ってくださいている皆さんの存在なくして、私たち

は長期にわたるこのウイルスとの戦いに打ち勝つことはできません。

目に見えない恐ろしい敵との戦いを支えてくださっている、こうした全ての皆様に心より御礼を申し上げます。

皆さんに改めてお願いいたします。どうか、外出を控えてください。できる限り、人との接触を避けてください。そのことが医療現場を守り、多くの命を守ることになります。ひいては、皆さんや皆さんの愛する人たちを守ることに繋がります。全ては私たち一人一人の行動にかかっています。

緊急事態宣言が発令

政府から緊急事態宣言が発令されました。

我が国で初めてのことです。

この度の新型コロナウイルス感染症の拡大によって、私たちの生活が一変しました。

身近な飲食業の店主などからお客さんが全然来ない、前代未聞の事態だとか、国民の皆さんからも外出を抑制されるのは初めてだと言う声が沢山聞かれます。

多くの方が、職場に行けず、子供たちは学校や施設に行けない状況が続いています。最も辛いことは、これまで当たり前になっていた人に会えなくなってしまったことでしょうか。このような状況に置かれれば、誰もがこの先どうなるのか、多くの疑問と不安を抱えてしまうのは当然のことです。

ある意味、人類史上、何回目かの危機の中にいます。

1918年～1920年に流行したスペイン風邪は、世界全体で4,000万人の死者、日本においても、患者数が2,300万人、死者38万人と大流行しました。

それ以来の危機と言えます。

既に他の国では緊急事態宣言などが発令されていますが、我が国の緊急事態宣言は、それらと少し異なります。日本の場合は、医療行為や医療物資などの確保の為に、政府が事業者に強制的な取用を行うことなどが一部できます。一言で言うと、日本の場合は、国民に協力を求めることです。

緊急事態宣言そのものは、総理大臣が発令しますけれども、実際に協力を求めるのは、都道府県の知事です。住民の外出自粛要請や施設の使用制限や停止の要請などをするようになります。



4月17日 自由民主党政務調査会全体会議
「経済対策について」財務金融部会長として出席致しました。

事業者などには、要請をしても聞き入れられない場合は、指示ができますが、その場合も法的には任意です、すなわち罰則はありません。

当然、地域に根差してコツコツ頑張ってきた飲食業をはじめ事業者の皆さんからは、営業自粛すれば損失が出るじゃないか、その補填は政府がやってくれるのかという風な声は上がりますし、マスコミもそうした論調が目立ちます。諸外国のように強制的に禁止されるならばその分を補填ということはあり得るでしょうが、協力要請と言うことを考えれば、本来は、政府による損失補填は出来ないのが現実です。ただ、その結果として、それなら、営業すると言う事では意味がないわけですし、事実上営業はやりづらいし、お客さんは少ないのが実態です。

今は、感染拡大防止、ワクチンの開発などに全力を尽くすべきですが、然るべき時に、緊急事態宣言のタイミングの是非、国民に強制的に私権の制限を課し、その分補填をする体制を議論し、改めます。

緊急経済対策を発表

政府は、4月7日の緊急事態宣言の発令と同時に緊急経済対策を発表しました。既に、2月に検査体制や水際対策を含む第一弾、3月に雇用や観光業などへの対策を含む第二弾を出していますから、これで第三弾となります。

実は、緊急経済対策と言うものが法律で規定されている訳ではなく、状況に合わせてそう呼んでいます。その意味では、景気対策として、毎年政府が補正予算を組んでいる経済対策と同じです。通常は秋の臨時国会か、一月に召集される通常国会で、その年度の補正予算が組まれます。今回は、始まったばかりの令和2年度の予算が3月に国会で成立していますが、その直後の、年度始めに補正予算として組んで、国会で議論、成立させることになり、その意味ではまさに緊急経済対策と言えます。

それだけ、企業経営や国民生活が逼迫しているから、当然、国全体の経済停滞も確実です。今回の緊急経済対策の総事業費は117兆円となっていて、これは、日本のGDPの2割強にあたる過去に例がないほど大規模なもの

です。

例年の経済対策なら20兆円台、リーマンショック後でも、56.8兆円でしたが、今回は、その時の倍以上の規模です。経済対策を語る時によく真水（まみず）と言う表現が出てきますが、これは、政府が予算で支出する金額のことです。経済対策は、公的金融機関からの融資なども内訳に入っています。今回の場合は、納税や社会保険料の支払いの猶予なども含んで規模が大きくなっているとも言えますが、あらゆる政策を総動員していることでもあり、いずれにしても、真水も史上最大になっています。

地方が元気になって日本を救おう

今は、感染拡大防止、ワクチンの開発などに傾注すべきですが、このような状況でも、助け合いや支え合いが全国各地で広がっています。

例えば、現在の厳しい状況に全力で立ち向かっている医療従事者の皆さんに、全国各地で拍手を送り、また、ライトアップなどを行って、感謝の気持ちを示す取組が行われています。又、手作りのマスクが、全国で飛び交っています。

支援活動をしているどの事業者、個人も、新型コロナウイルスの影響を受けています。しかし、それでも、もっと困っている方々、大変な思いをして頑張っている方々に対し、「少しでも感謝の想いを伝えたい!」と、他者のことを考え、他者のために行動する人たちがいることに、意を強くしました。

私は、地方の一つひとつが元気になれば日本が元気になると活動して参りました。正に、これから、地方の順番です。大都市が軒並み大打撃を受けている中であって、日本の底力を見せましょう。

令和2年4月30日

自由民主党財務金融部会長

参議院議員 松下新平



4月20日 自由民主党政調審議会

財務金融部会長として「新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための国税関係法律の臨時特例に関する法律案」について説明致しました。



4月20日 自由民主党総務会

財務金融部会長として「新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための国税関係法律の臨時特例に関する法律案」について説明致しました。

10万円の給付金について

感染症の影響が長引き、全ての国民の皆様が厳しい状況に置かれています。長期戦も予想される中で、ウイルスとの戦いを乗り切るためには、何よりも、国民の皆様との一体感が大切です。

国民の皆様と共に乗り越えていく、その思いで、全国全ての国民の皆様を対象に、一律に1人当たり10万円の給付を行うことを決断いたしました。

一日も早く、現金を皆さんのお手元に届けられるように、実施に当たる自治体や関係機関の方々と協力し、政府を挙げて全力で取り組んでまいります。

(申請する人が殺到して感染リスクが高まることを避ける観点から、手続については市町村の窓口ではなく、郵送やオンラインを基本とします。)

この給付金を地域に根差してコツコツ頑張ってきた飲食店に寄付したいなどの提案も頂いています。皆さんの善意に応えられるようなスキームに汗をかいて参ります。ご意見もお聞かせください。

松下財務金融部会長が出席した 新型コロナウイルス関連会議一覧

1月27日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
1月29日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
1月31日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
2月5日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
2月14日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
2月19日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部合同会議
2月19日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
2月27日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
2月27日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月2日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月3日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月5日	政調全体・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部合同会議
3月10日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月11日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月19日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月19日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月24日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月26日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部合同会議
3月30日	経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
3月31日	新型コロナウイルス関連肺炎対策本部
4月6日	政調全体会議
4月17日	政調全体会議
4月20日	政調審議会
4月20日	総務会

松下財務金融部会長が出席した 財務金融部会・金融調査会一覧

1月15日	政調、財務金融部会
1月23日	政調、財務金融部会
1月28日	政調、金融調査会
2月5日	政調、金融調査会 企業会計に関する小委員会
2月7日	政調、金融調査会 デジタルマネー推進PT
2月14日	政調、金融調査会 デジタルマネー推進PT
2月14日	政調、財務金融部会・国土交通部会・金融調査会・競争政策調査会 合同会議
2月18日	政調、財務金融部会
2月19日	政調、財務金融部会・金融調査会 金融イノベーション加速化PT合同会議
2月19日	政調、金融調査会 企業会計に関する小委員会
2月21日	政調、財務金融部会・金融調査会 合同会議
2月26日	地方創生実行統本部・金融調査会 地域金融機関経営力強化PT合同会議
3月4日	地方創生実行統本部・金融調査会 地域金融機関経営力強化PT合同会議
3月11日	政調、金融調査会
3月12日	政調、財務金融部会
3月12日	地方創生実行統本部・金融調査会 地域金融機関経営力強化PT合同会議
3月13日	政調、金融調査会 デジタルマネー推進PT
3月13日	政調、金融調査会 金融市場強化・保険PT
3月17日	政調、金融調査会 金融イノベーション加速化PT
3月18日	地方創生実行統本部・金融調査会 地域金融機関経営力強化PT合同会議
3月24日	政調、金融調査会
3月25日	政調、金融調査会 企業会計に関する小委員会
3月26日	政調、財務金融部会・金融調査会 合同会議
3月27日	政調、金融調査会 金融市場強化・保険PT
4月1日	政調、地方創生実行統本部・金融調査会 地域金融機関経営力強化PT合同会議
4月15日	政調、財務金融部会正副部長会議

令和2年松下新平応援団総会及び自由民主党宮崎県参議院選挙区第一支部総会 開催中止(書面議決)のお知らせ

例年6月に開催しております松下新平応援団及び自由民主党宮崎県参議院選挙区第一支部総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面議決とさせていただきます。

つきましては、後日、各総会資料を送付させていただきます。

松下新平政経セミナー、延岡地区国政報告会中止のお知らせ

6月28日に宮崎観光ホテルで予定しておりました松下新平政経セミナーと過日4月6日に延岡市のエンシティホテルで予定しておりました延岡地区国政報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

当面、皆さんと直接お会いする事は叶いませんが、お困りの点など、何なりと電話、メールなどでお申し付けください。又、私のホームページに、新型コロナウイルス感染症について、取り組みなどを随時アップしておりますので、こちらもアクセスください。